

天覧山麓でのお手軽スケッチ植物観察

●飯能市街地からのアクセスの良さと、小学生の遠足でも行く手軽に登れる低山でありながら、山頂からの眺望が素晴らしい天覧山。しかし、私が特に惹かれるのは、足元で様々な姿を見せてくれる野草たち。山頂まで登らずとも、沢伝いの山道沿いで咲く、四季折々の野草の花や、虫たちとの共生する多様な姿を見られるだけでも十分な魅力があります。●私は2年くらい前から、月に1度の植物調査モニタリング1000に参加するようになって、1つ1つの野草に付けられている名前を少しずつ憶えられるようになりました。せっかく聞いた植物の名前は、何度聞いても、不思議なくらいすぐに忘れてしまいます。そこで、自分なりに少しでも覚えられるよう、スケッチを始めてみたのです。

●その場では、どうしても、細かいところまでは描ききれないので、特徴だけを捉え、写真も撮っておきます。後で、記憶を辿りながら、写真をじっくり見返し、照合していくのです。可憐な花に目が行く野草ですが、植物調査はつぼみや実も記録対象なので、花の前後にも注意が行きます。大事なのは、陽当たりや風通しなど周囲の雰囲気も含めて良く観察することで、実際に触ってみた感触、独特の薫りなど、五感を使って覚えていくことです。また、年間を通じて定点観測することで、枯れた姿や、実や種の付け方など、それぞれの植物の季節に応じたさまざまな姿が見えてきます。●最初は、目に映る植物の姿だけしか見えませんでした。観察を続けていると、葉陰で休む虫たちや、食べられた葉、虫こぶ、巣を張る蜘蛛、木の枝に絡みつく蔓性植物など、さまざまな生き物が互いに関係性を持ちながら共存共生していることが分かってきます。最初は見えなかったものが少しでも見えるようになってきた時、初めて、長年にわたり人々の営みと共存してきた「里地里山」の自然の豊かさを実感できるようになってきたように思います。そして、自分が見えている世界は、ほんの少しなのだという気持ちになるのです。



会員：水澤智直

地域に拘り世界に挑む「若林福成」の今までとこれから

てんたの会では 2013 年度に市内ヤマネ生息調査をしました。しばらくして知人の久喜市役所職員からヤマネに興味がある人として紹介されたのが若林さんでした。ヤマネをキャラクターに酒造会社を作りたいということで調査結果や写真を提供しましたが、数年後に本当に会社を設立し甘酒や日本酒の製造販売を始めました。今や酒造の枠を超えて活動を展開する若林さんに経緯と今後の展開を書いていただきました。（大石）



西川材を使用した木桶仕込み

●2010年大学2年19歳の時にキャラクターコンテンツを活用した町おこしをプロデュースする合同会社福成を設立。アニメ「らき☆すた」や鉄道むすめ「栗橋みなみ」を活用した町おこしに主要メンバーのひとりとして携わりました。●2010～現在も、アニメファンやキャラクターファンと交流する中で得た「2次元も好きだけど、3次元のリアルな嫁が欲しい」と言う言葉をヒントに、オタクとオタクの出会いの場「オタ婚活」事業を札幌・福島・大宮・東京・秋葉原・京都・高松などで計100回以上婚活パーティーを開催し、500組以上のカップルが成立、その中から10組以上ご成婚。婚活事業を展開している大手企業は、年収や職業に重きをおいた婚活を展開しているのに対し、私が展開したオタ婚活は、趣味が同じもの同士を結び付けていくことに重点を置いています。●結果的に、この婚活業界にとっては斬新な発想から多くのメディアにも注目され、オタクを対象とした婚活事業を展開する会社が後発で4社ほど出現。オタクを対象としたオタ婚活以外にも、アイドル婚活や、生物好き婚活、天体婚活など趣味に絞った婚活も展開しました。（※この場合のオタクとは、アニメやゲーム、漫画、キャラクターファンを指す）●2015年関東最古と言われる鷲宮神社の鳥居横で築120年の古民家をリノベーションして和食と日本酒の飲食店「古民家レストラン大西茶屋」を2017年3月まで久喜市商工会より指定管理者の委託を受け経営しました。●これは、アニメ「らき☆すた」を活用した事業で携わっていた、埼玉県久喜市（旧：鷲宮町）が年々衰退していく様子を目の当たりにして地域経済活性化を考え、鷲宮地域に住む人々の一番の心のよりどころである鷲宮神社付近でのコミュニティビジネスを展開することを実現させたものです。●一方、秋田県の新政酒造での修行後、飯能市に、飯能の自然と生物多様性と共に歩む環境保全の会社「やまね酒造」を2019年に設立。同時に、やまね酒造株式会社 代表取締役兼生物多様性・環境生態学研究センター長に着任。企業向けに生物多様性・ネイチャーポジティブに関わるフィールドを提供するとともに、特にニホンヤマネとスナヤツメ、ツキノワグマの調査・研究活動を行っています。●やまね酒造のお酒は飯能産西川材を使用した木桶仕込み・秋田の酒造り修行先で見つかった6号酵母・埼玉県産米の袋吊り、無濾過生原酒です。●今後は海外のお米（例えばラオスやコスタリカ）でもお酒の製造を行い、飯能の地域から世界へお酒を届けていく。そして、久須美の茅葺屋根の古民家と裏山を取得し養蚕を復活させて「インセクトハウス蚕-kaiko-」という民泊のオープンに向けて準備を進めています。草刈り等の手伝いが必要で、協力していただける方の募集を検討しています。



＜受賞歴＞
2023年 環境省 第11回グッドライフアワード実行委員会特別賞・EXP02025いのち動的平衡賞を受賞
2024年 環境省第19回エコツーリズム大賞特別賞・自然保護大賞入選を受賞
2025年 彩の国埼玉環境大賞優秀賞



ラオスでの著者

やまね酒造・代表 若林福成
＜経歴＞
1991年埼玉県久喜市（旧：栗橋町）生まれ
立正大学環境科学部環境システム学科（理学）卒業
香川大学大学院地域マネジメント研究科修了、MBA（経営修士）
日本緑化センター・自然再生士補
中学・高等学校教諭一種免許状（理科）取得
2014-2016年 埼玉県アニメの聖地化プロジェクト会議アドバイザー
2020年 香川大学非常勤講師
2021-2023年 久喜市農業推進協議会委員
2025年 飯能市環境審議会委員



てんたのなかま

ヤマアカガエル

ヤマアカガエルは、天覧山周辺で見られるカエルの一つです。普段は、山の中にいて、あまり目にすることはありません。カエルということ、五月ごろ田んぼで鳴くのを思い浮かべる方も多いと思います。ところが、ヤマアカガエルは冬眠中の一月～二月という寒い時期に、一度起きだして、水辺で産卵します。メス一匹が、水の中に大きな卵塊をつ生みます。つまり、卵塊の数でメスの数がわかるのです。卵塊を産んだ後、ヤマアカガエルのメスは、また冬眠に戻ります。冬の水辺で、カエルの卵を探してみませんか。



文・原田恵子 絵・森人

ヤマアカガエル

山赤蛙

学名 Rana ornativentris

英名 Montane Brown Frog

アカガエル科アカガエル属

日本固有種

早春にしては暖かい、雨が降った夜に産卵場所に集まり、オスは「キヤララッ、キヤララッ」と鳴くのをふくらませてさかんに鳴きながらメスを探す。昆虫、ミミズ、ナメクジなどを食べる。

赤蛙 田植え終わりし

喜びを

鳴き声高く表すがごと

志太野坡（しだやば）